

REDDプラスへの取組動向 Country Report 平成27年度 コンゴ民主共和国



contents

概要情報	1
1 森林の概況	2
1.1 経年変化	2
1.2 今後の森林計画等	3
2 REDDプラスへの取組状況	4
2.1 取組開始	4
2.2 REDDプラス実施体制	4
2.3 FCPF及びUN-REDDへの参加	5
2.4 REDDプラス実施のための国内制度設計	6
2.5 活動スケジュール及び資金計画	8
2.6 REDDプラスへの取組(年表)	11
3 主だったREDDプラス関連事業の実施状況	12
3.1 主だったREDDプラス関連事業の実施状況	12
3.2 日本の支援状況	14
4 その他	15
4.1 UNFCCCへの関与情報	15
4.2 UNFCCCへ提出している森林情報	15
4.3 その他の特徴的な地球温暖化対策	16

概要情報



自然条件

森林被覆率	65.7% (2010年)	森林減少率	0.20%/年 (2005-2010年)
-------	------------------	-------	-------------------------

ガバナンス

フォーカルポイント	国家REDDプラス調整	主管官庁	環境・自然保護・観光省
-----------	-------------	------	-------------

国ベースの取組進捗				
実施体制整備	国家戦略策定	モニタリングシステム整備	参照レベル開発	セーフガードに係る規定
○	○	△	△	△

「○」は準備段階で整備が整ったもの、「△」は整備途中、「－」は未実施もしくは顕著な進捗がないもの。

支援

国際イニシアティブへの参加状況	世界銀行FCPF	○（準備基金及び炭素基金）
	UN-REDD	○
	その他	－

支援額	202百万米ドル	主なドナー	CBFF、EC、GEF
日本からの支援額	10百万米ドル		

わが国の取組状況

JCMに関する情報	協定締結	－
	REDDプラスの取扱い	－
	REDDプラス事業の有無	－

その他の取組	国・準国ベース	■ JICAが国家森林モニタリングシステムの運用に向けた政府職員の能力強化を実施（継続中）
	PJベース	－

1

森林の概況

- コンゴ民主共和国は国土の約66%が森林であり、森林のうち低地湿潤熱帯林が約54%、サバンナが約18%、半落葉乾燥林が約17%、湿地林が約5%、準山地林が約4%、山地林が約1%となっている(2009年時点)¹。コンゴ民主共和国の森林炭素ストック量は熱帯林諸国の中で第2位であり、REDDプラス実施の高い潜在性を有する²。
- コンゴ民主共和国の森林は、環境・自然保護・観光省(Ministère des Affaires Foncières, Environnement et Tourisme : MECNT)が管轄している。森林は全て国有林であるが、法律に基づき地域住民やコンセッション取得者に森林の使用権が付与されている。
- 森林率(国土面積に占める森林面積割合)は1990年の約68%から2010年の約66%へと減少した。1990~2010年までの平均年間森林減少は311千ha/年、森林面積の年間減少率は0.2%である¹。
- 森林減少は主に大都市近郊で発生しており、焼畑移動耕作及び薪炭材採集が森林減少の大きな要因となっている。また、商業伐採及び鉱物採掘は森林劣化の要因となっている。

1.1 経年変化

表 1-1 コンゴ民主共和国の概況

	1990年	2000年	2010年
人口(中位推計) ³ (千人)	36,406	49,626	65,966
GDP ³ (百万米ドル)	9,350	4,306	13,145
1人あたりGDP ³ (米ドル/人)	257	106	201
GDP成長率 ³ (%)	-6.6	-6.9	7.2
国土面積 ⁴ (千ha)	234,486	234,486	234,486
森林面積 ⁴ (千ha)	160,363	157,249	154,135
森林率(%)	68.4	67.1	65.7
年平均森林減少面積 ⁴ (千ha/年)	-	311	311
Primary Forest ⁴ (千ha)	-	-	-
Other naturally regenerated forest ⁴ (千ha)	-	-	-
Planted Forest ⁴ (千ha)	56	57	59
Carbon stock in living forest biomass ⁴ (百万t)	20,433	20,036	19,639

(注) 森林率は、国土面積に占める森林面積の割合を算出したものであり、本文中に示された他の文献に基づく値とは必ずしも一致しない。

¹ 出典：ITTO (2011) Status of Tropical Forest Management 2011 : 81.

² 出典：Democratic Republic of Congo (2010) National Programme Document – DRC.

³ 出典：UN data

⁴ 出典：FAO (2010) Global Forest Resources Assessment 2010, Global Tables.

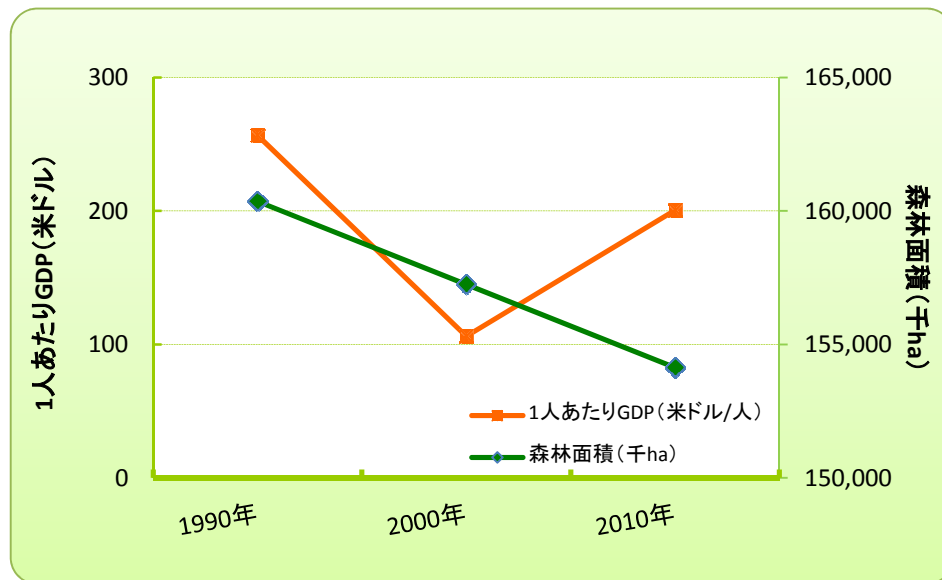


図 1-1 コンゴ民主共和国の1人あたりGDPと森林面積(1990～2010年)⁴

1.2 今後の森林計画等

- コンゴ民主共和国には、国として森林計画を立てておらず。ベルギーの植民地であった1949年に定められた規則を継承する形で、2002年に森林法(Forest Code)が施行された。この森林法では森林は国有であるものの、その管理は県レベルの地方政府が担うこととなっている。
- 2012年に国家REDDプラス戦略の枠組みを示した国家REDD枠組戦略(National REDD Framework Strategy)が策定され、2035年までのREDDプラスの取組目標が示された。そこでは、森林減少を抑制し、2030年に森林率(国土面積に占める森林面積の割合)63.5%を維持することが最終目標として掲げられている⁵。2035年の最終目標に向けて、2030年までに森林減少を正味ゼロとすること、参照レベルに対して56%の排出削減をすること等、ベースとなる6つの目標を示している。
- 国家REDDプラス戦略は、REDDプラスのパイロットプロジェクトやREDDプラスを実施する組織からのフィードバックを受け、2015～2016年頃に最終化される予定である⁶。

⁵ 出典：Democratic Republic of Congo (2014a) Emission Reductions Program Idea Note (ER-PIN) : 28,69.

⁶ 出典：Forest Peoples Programme (2013) The Status of the REDD+ process in the Democratic Republic of Congo.

2

REDDプラスへの取組状況

2.1 取組開始

- コンゴ民主共和国は、2009年11月の首相令により国家レベルのREDDプラス準備のための国家REDDプラス委員会(National REDD+ Committee)を設立し、REDDプラスに関する政策決定や計画、調整等を行っている。
- 国家プログラム文書がUN-REDDプログラム政策委員会において承認され、2010年10月に署名された後、UN-REDDプログラムの公式な発足を経て、UN-REDDからコンゴ民主共和国への支援資金が同年11月に配分された。
- 取組は政策計画から成果主義へと移行しつつあり、REDDプラスに関する研究やREDDプラスパイロットプロジェクトの試行、研修、地域レベルでの知見共有、国内コンサルテーションプロセスの完了、国内初のREDDプラスカリキュラムの開講等を行っている。

2.2 REDDプラス実施体制

- 政策・意思決定・計画機関として国家REDDプラス委員会が設置されている。その下に省庁横断のREDDプラス省庁間委員会(REDD+ Interministerial Committee)が設置され、さらに各官庁が市民や民間事業者等を調整する構造である。
- 政策・意思決定・計画機関に対する技術的助言は、科学評議会(Scientific Council)が行う。

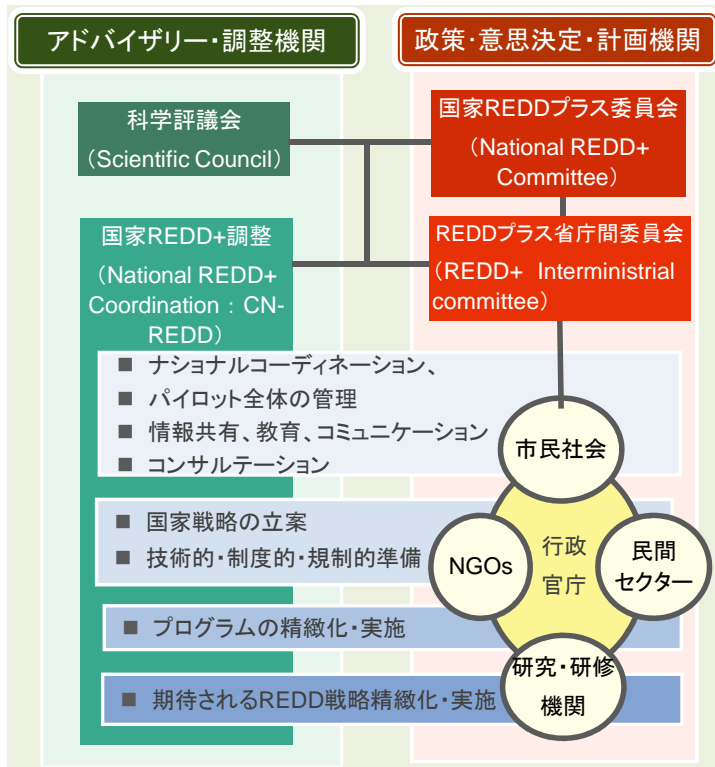


図 2-1 REDDプラス実施体制⁷

⁷ 出典：Democratic Republic of Congo (2010) Readiness Plan for REDD (R-PP), Final Version : 15.

表 2-1 主だったREDDプラス関係省庁及びその役割⁸

組織名	REDDプラス実施の際に想定される役割
環境・自然保護・観光省 (MECNT)	<ul style="list-style-type: none"> ■ クリーン開発メカニズム (Clean Development Mechanism : CDM) の指定国家機関 (Designated National Authority : DNA)、REDDプラス政策・戦略の立案を担当
農業省 (Ministry of Agriculture : MOA)	<ul style="list-style-type: none"> ■ REDDプラス政策への農業、農村分野からの情報を提供
エネルギー省 (Ministry of Energy : MOE)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 国民の約80%が森林由来を含むバイオマスエネルギーに依存するため、エネルギー保全との観点からのREDDプラス政策へ情報を提供
鉱業省 (Ministry of Mines)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 銅・コバルトの世界的産地である森林地帯の資源開発と森林保全の調整を担当
インフラ・土木省 (Ministry of Infrastructures, Civil Engineering)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 道路等のインフラ設備と森林保全との調整を担当
土地所有省 (Ministry of Land Tenure Affairs)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 鉱物開発、インフラ開発、農業開発等と森林保全との調整を担当
計画省 (Ministry of Plan)	<ul style="list-style-type: none"> ■ REDDプラス政策・戦略と国家計画との整合性・調整等を担当
内務・民主省 (Ministry of Interior and Decentralization)	<ul style="list-style-type: none"> ■ REDDプラス政策への地方分権と森林保全分野からの情報を提供
農村開発省 (Ministry of Rural Development)	<ul style="list-style-type: none"> ■ REDDプラス政策への農村開発、農民の生活保護分野からの情報を提供
財務省 (Ministry of Finance : MOF)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 各種ドナーからの援助資金等に関わる調整を担当

2.3 FCPF及びUN-REDDへの参加

- 2009年より、世界銀行森林炭素パートナーシップ基金 (Forest Carbon Partnership Facility : FCPF) の下でのREDDプラス実施に向けた取組を開始した。2010年3月には、アフリカ諸国で最初にReadiness Preparation Proposal (R-PP) が世界銀行FCPF準備基金で承認され、2011年に3.4百万米ドルの資金支援が決定した。また、2013年に追加資金として5百万米ドルの資金支援を要請し、2014年に承認された⁹。
- 2009年よりR-PP等のREDDプラスロードマップ作成や組織強化等の立ち上げ準備に向けた取組がUN-REDDプログラムの下で開始された。2010年には、REDDプラス準備段階の資金として3年間で5.5百万米ドルの支援が承認された¹⁰。
- 2014年には世界銀行FCPF炭素基金へEmission Reductions Program Idea Note (ER-PIN) を提出し、Mai Ndombe地域で排出削減プログラム (Emission Reductions Program : ER Program) を開始した。同地域では、実施中の他のプロジェクトと連携し、準国ベースのREDDプラス活動を実施予定である。また、
- 2015年3月、世界銀行FCPF準備基金に、準備基金を用いた取組の報告であるR-Packageの最終版を提出した。2015年12月末時点で、R-Packageを提出しているのは、同国のみである。

⁸ 出典：Democratic Republic of Congo (2010) Readiness Plan for REDD (R-PP), Final Version : 15-17.

⁹ 出典：FCPF (2014) Tird Grant Agreement for DRC's Readiness Preparation Proposal Readiness Fund of the FCPF.

¹⁰ 出典：Democratic Republic of Congo (2010) National Programme Document- Democratic Republic of Congo : 5-7.

2.4 REDDプラス実施のための国内制度設計

2.4.1 国家戦略

- 2012年に国家REDD枠組戦略を策定し、2035年までのREDDプラスの取組目標が示された。国家REDDプラス戦略は、REDDプラスのパイロットプロジェクトやREDDプラスを実施する組織からのフィードバックを受け、2015～2016年頃に最終化される予定である。(再掲)

2.4.2 REDDプラス実施にあたっての許可制度

- REDDプラス実施にあたっての明確な許可制度はない。
- プロジェクトにおいては、土地の使用権を有する地域コミュニティとプロジェクト実施者の間で契約を締結し、プロジェクト実施者が活動実施の許可(Consession)を政府から取得している例がある¹¹。
- REDDプラス活動による温室効果ガス(Greehouse Gas : GHG)排出削減の承認手続きを支援する目的で、国連開発計画(United Nations Development Programme : UNDP)及びアフリカ中部イニシアティブ(Observatoire des Forêts d'Afrique Centrale : OFAC)の支援を受けて国家REDDプラス登録簿(National REDD+ Registry)が2012年に試験的に設置された。OFACのウェブサイトプロジェクト登録フォームが設けられている。国家REDDプラス登録簿は、最終的に国家森林モニタリングシステムの管理システムへ統合される予定であり、UN-REDDの支援を受けて試験的に設置された国家森林モニタリングシステムには、登録されたプロジェクトのバウンダリが地図上に示され、プロジェクトの概要が閲覧できるようになっている¹²。

2.4.3 参照レベル

- 現時点で、UNFCCCへ参照レベルは提出していない。
- 世界銀行FCPF炭素基金の下で、Mai-Ndombe地域における準国ベースの参照レベルを開発し最終化を進めている。

2.4.4 モニタリングシステム¹³

- 2011年に国家森林モニタリングシステムが構築され、環境・自然保護・観光省(MECNT)の森林インベントリ管理局(Directorate of Inventory and Forest Management : DIAF)が国連食糧農業機関(Food and Agriculture Organization of the United Nations : FAO)、国際協力機構(JICA)、ブラジル国立宇宙研究所(Instituto Nacional de Pesquisas Espaciais : INPE)等と協力して管理を行っている。

¹¹ 出典 : Wildlife Works Department of Carbon Development (2012) The Mai Ndombe REDD+ Project.

¹² 出典 : Democratic Republic of Congo (2014b) National Forest Monitoring System.

¹³ 出典 : Democratic Republic of Congo (2014a) Emission Reductions Program Idea Note (ER-PIN) : 63-66.

- REDDプラス活動のモニタリングや国家森林モニタリングの結果を提供するためのウェブ上で管理システムを構築中であり、2014～2016年かけてプログラムの開発、実施及び運用を進めている。
- 国家森林モニタリングシステムは、衛星土地モニタリングシステム（通称TerraCongo）、国家森林インベントリシステム、GHGインベントリシステムの3つと深く関係している。
- 世界銀行FCPF炭素基金の下で進められるER Programにおける準国ベースのMRVシステム構築の取組では、国家森林インベントリとの一貫性を保つため、ER Programで収集するデータの統合システム案を示している。TerraCongoの構築にあたっては、LiDARにより取得したデータ、及びメリーランド大学で作成された森林被覆図を用いて森林区分の精度向上を進めることが検討されている。

■ 2.4.5 セーフガード

- 国家社会・環境スタンダードを策定し、世界銀行の下でセーフガードに関連する国内の法律文書や枠組みの検証を受けている。スタンダードは7の原則、25の基準、43の指標で構成されている。

■ 2.4.6 利益配分システム

- 利益配分システムは構築されていない。
- プロジェクトベースでは、土地の使用権を有する地域コミュニティとプロジェクト実施者の間で炭素権に関する協定(Carbon Right Agreement : CRA)を締結している例がある¹¹。
- 国ベースの取組としては、2012年にREDDプラス実施のためのキャパシティ・ビルディングへの投資、環境サービスに対する支払い(Payments for Environmental Services : PES)、及び炭素クレジットの管理の3つを実施するための資金窓口として、財務省(MOF)とUNDPが了解覚書(Memorandum of Understanding : MoU)を結び、国家REDDプラス信託基金(National REDD+ Trust Fund)が設置された。
- 世界銀行FCPF炭素基金の下で計画されているER Programでは、クレジット販売で得た資金は国家REDDプラス信託基金で管理され、個々のプロジェクトへ分配されることを想定している。また、利益配分メカニズムは、自由で事前の十分な情報に基づく合意(Free, Prior, Informed Consent : FPIC)を基にステークホルダーとの協議の上で構築し、実施する方針としている。ステークホルダーへの支払いはREDDプラス活動の結果に基づいて支払う案とステークホルダーとの協議により事前に設定した金額を支払う案が検討されている。

2.5 活動スケジュール及び資金計画

- REDDプラスフェーズ1(準備段階)について、2012年末の完了を目指し取組を開始した。その後、2015年末までがフェーズ2(試行段階)、2016年以降がフェーズ3(完全実施段階)となることが期待されていたが、取組は遅れているのが実情である。
- 世界銀行FCPF準備基金に提出したReadiness Programme Idea Note(R-PIN)において、2012年までに達成すべき目標として、以下が挙げられている。
 - 各県にREDDコーディネーターを1名配置
 - 国ベース、県ベース、現地ベースで市民社会の参加を促し、市民がREDD Climate Work GroupとしてREDDプラス活動ができるようキャパシティ・ビルディングを実施
 - REDD Climate Work Groupやその他の市民社会団体が参画する独立選挙委員会(The Independent Electoral Commission : IEC)の設置と、県レベルの協議計画の策定
 - REDDプラスに関する研究、モニタリング、試験的な取組を実施し、国家合意戦略を作成
- 2010年には世界銀行FCPF準備基金へのR-PPが承認され、UN-REDDから5.5百万米ドル、FCPFから3.4百万米ドルの資金拠出が承認された。

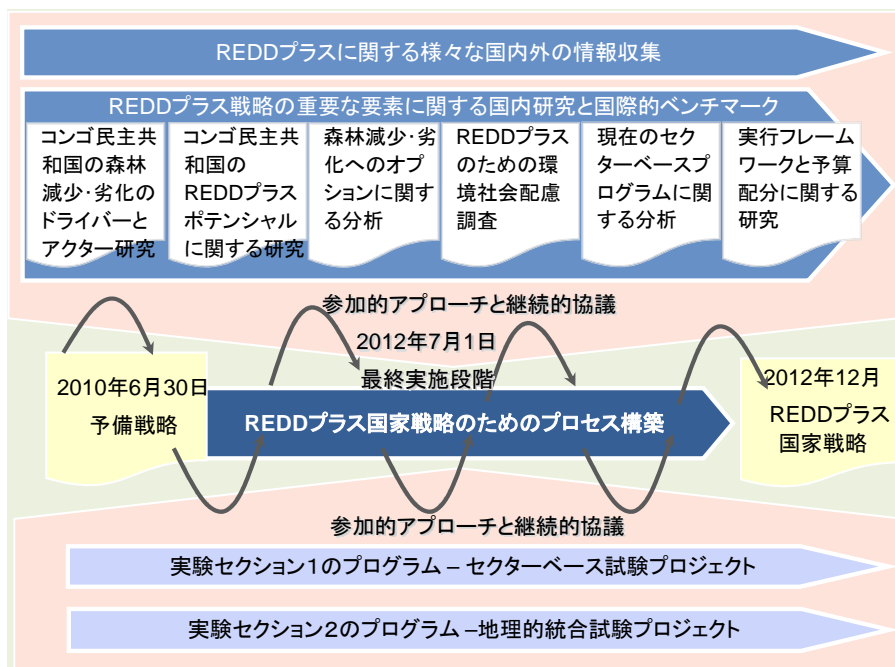


図 2-2 コンゴ民主共和国のREDDプラス国家戦略構築プロセス¹⁴

- コンゴ民主共和国は、R-PPにおいて、自国のREDDプラスに関する活動の成果及びその実施体制、成果を評価する指標を、表2-2の通り定めている。

¹⁴ 出典：Democratic Republic of Congo (2010) Readiness Plan for REDD (R-PP), Final Version : 12.

表 2-2 成果フレームワーク¹⁵

期待される成果	主たるパートナー	成果の評価指標
2030年 国家 REDDプラス戦略を参加型方式で策定し、実行する準備が可能となっていること	国家委員会、省庁間委員会、National Coordination for REDD (CN-REDD)、Climate and REDD Working Group from Civil Society (GTCR)、UNDP、世界銀行、FAO	<ul style="list-style-type: none"> ■ REDDの幅広い関係者の合意点となるような、質が良く目標値の高い国家 REDDプラス戦略が策定されること ■ 決定ツール(参照シナリオ等)、及び戦略的環境評価(Strategic Environmental Assessment : SEA)に依拠した戦略的かつ関連する複数分野へ予算が適切に配分された REDDプラスのための投資計画が策定されること
REDDプラス実行のための制度的枠組を暫定的に作成し、2013年からの開始に向けて準備が可能となっていること	国家委員会、環境・自然保護・観光省(MECNT)、CN-REDD、世界銀行、United Nations Environment Programme (UNEP)、UNDP	<ul style="list-style-type: none"> ■ カーボン・プロジェクト及びイニシアティブの登録が機能していること ■ カーボンファイナンスマネージメントのための暫定的な国家ファンド・メカニズムが整備されていること ■ 環境社会アセスメントの手続きが整備されていること
REDDプラスのための包括的なMRVシステムの構築と運用	森林インベントリ管理局(DIAF)、CN-REDD、FAO、世界銀行、UNEP	<ul style="list-style-type: none"> ■ GHG排出権(森林減少/劣化)のためのMRV)システムが国レベルで運用・管理可能であること ■ 社会・環境的コントロール及び経済的なMRVシステムが整っていること

¹⁵ 出典：Democratic Republic of Congo (2010) Readiness Plan for REDD (R-PP), Final Version : 13.

- コンゴ民主共和国のR-PPに示された予算のほとんどは、表2-3のとおり、外部の資金援助によっている。

表 2-3 REDDプラス準備段階における推定費用等
【推定費用】¹⁶

活動		推定費用(単位:千米ドル)			
大項目	中項目	2010	2011	2012	計
組織・協議 体制整備	国家REDDプラスの準備段階管理体制整備	1,066	902	1,247	3,215
	協議及び参加のプロセス構築	457	1,060	848	2,365
REDDプラス戦略の 準備	土地利用、森林関連法、政策及びガバナンスの評価	433	0	0	433
	REDDプラス戦略オプション	675	633	613	1,921
	REDDプラス実施の枠組み構築	695	1,220	1,460	3,375
	社会・環境影響評価	350	520	150	1,020
参照レベル 開発	—	345	330	305	980
モニタリング システム設計	排出量・吸収量	3,502	2,204	2,104	7,810
	多面的機能、その他の影響、ガバナンス	150	850	0	1,000
その他 経費	UN-REDD間接経費	120	120	120	360
	FCPF受託者管理・監査報酬	88	97	53	238
計		7,881	7,936	6,900	22,717

【資金源】¹⁷

準備段階のための予算(A)(単位:千米ドル)	22,717
コンゴ民主共和国の予算合計(B)	1,827
現在実施中のUN-REDD/FCPF準備基金	1,227
国際熱帯木材機関(International Tropical Timber Organization : ITTO) /REDDES	600
上記予算(A)のうち外部資金で賄われる費用(A-B) = F + G	20,890
UN-REDDとFCPF準備基金への資金要請(D + E) = F	8,900
世界銀行FCPF準備基金への資金要請(D)	3,400
UN-REDDへの資金要請(E)	5,500
うちUNDP	2,185
うちFAO	2,343
うちUNEP	972
協調融資(Congo Basin Forest Fund (CBFF)及び他の二国間ドナーからの財政支援)(G)	11,990

(注) 表中の金額は、R-PPに示された2010年時点の計画である。

¹⁶ 出典：Democratic Republic of Congo (2010) Readiness Plan for REDD (R-PP), Final Version : 98-100.

¹⁷ 出典：Democratic Republic of Congo (2010) Readiness Plan for REDD (R-PP), Final Version : 14.

2.6 REDDプラスへの取組(年表)

表 2-4 REDDプラスに関する主な取組

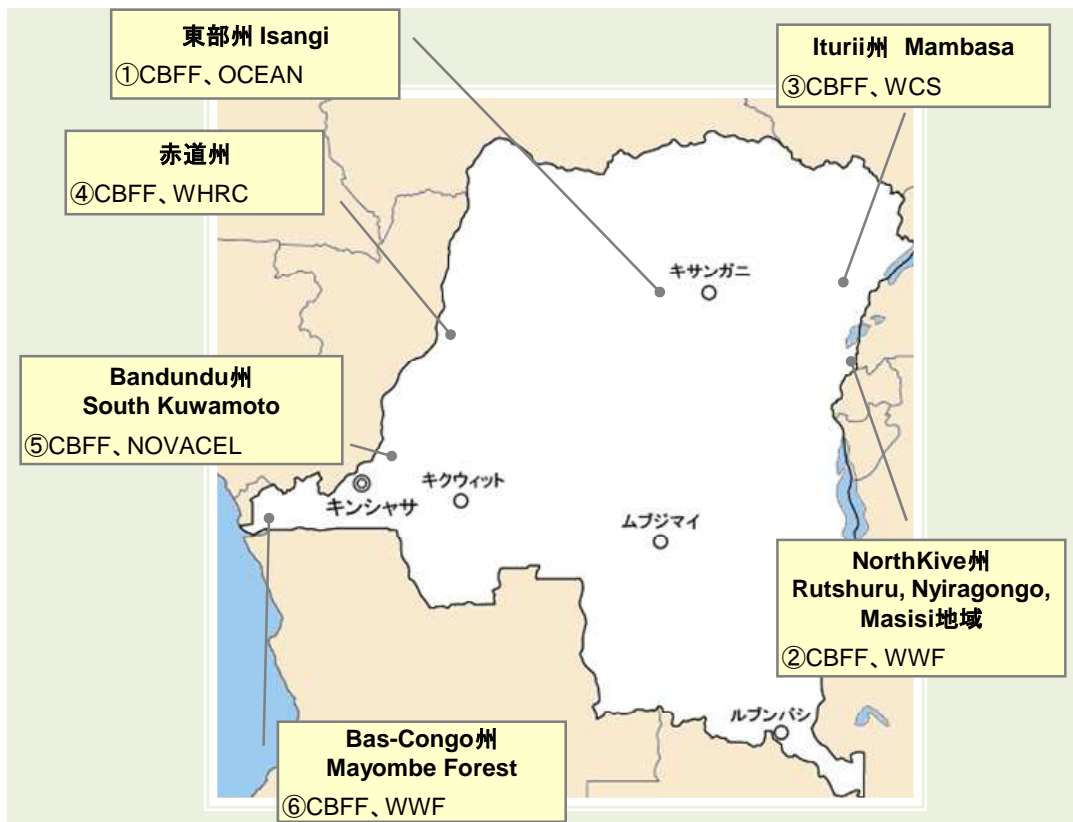
REDDプラスに関する主だった取組	
2008年	<ul style="list-style-type: none"> 世界銀行FCPF準備基金にR-PINを提出
2009年	<ul style="list-style-type: none"> 1月、UN-REDD/FCPF及びパートナーと初の合同会議を開催 5月、UN-REDDより資金援助(1.8百万米ドル)の供与実施 8月、首都Kinshasaにて国家プログラム開始のワークショップを開催し、さらに9月から2010年2月にかけて5つの州都(Kisangani, Bukavu, Matadi, Mbandaka, Lubumbashi)においてREDD関連のワークショップを開催 11月、国家REDD調整(CN-REDD)を官庁化し、REDDプラス委員会を設立することを定めたREDD首相令(A decree by the Prime Minister N°09/41)の発令
2010年	<ul style="list-style-type: none"> 1~2月、世界銀行FCPF準備基金へ提出したR-PPの決定及び国家認証 3月、UN-REDDがコンゴ民主共和国への5.5百万米ドルの資金拠出を承認 6月、世界銀行の森林投資プログラム(Forest Investment Program : FIP)に選定(支援資金65百万米ドル) 8月、Kinshasaで初のREDDプラス大学(REDD+ University)講義開講(2012年にも第3回講義開講、800人が受講)
2011年	<ul style="list-style-type: none"> 3月、世界銀行FCPF準備基金が3.4百万米ドルの資金拠出を承認 6月、国際連合の気候変動関連会議において、国家森林モニタリングシステムの新規立ち上げについてプレゼンテーションを実施 10月、REDDプラスのハイレベルイベントを開催(ノルウェー、UNEP、UN-REDD事務局の支援による) 12月、COP17サイドイベントにおいて、国家森林モニタリングシステムを構築したことを発表
2012年	<ul style="list-style-type: none"> REDDプラスのためのマルチドナートラストファンドの設立に向けた協議を財務省(MOF)とUNDPが実施し、REDDプラス基信託金を設置 国家REDD枠組戦略を策定し、12月のCOP18にて公開
2013年	<ul style="list-style-type: none"> 3月、世界銀行FCPF炭素基金へER-PINの第1版を提出 5月、準備段階の取組実施に向けた資金支援として、世界銀行FCPF準備基金が2,178千米ドルを拠出
2014年	<ul style="list-style-type: none"> 3月、世界銀行FCPF炭素基金へER-PINの第2版を提出
2015年	<ul style="list-style-type: none"> 3月、世界銀行FCPF準備基金へR-Packageを提出
2016年以降	<ul style="list-style-type: none"> 国家REDDプラス戦略を開発予定

3

主だったREDDプラス関連事業の実施状況

3.1 主だったREDDプラス関連事業の実施状況

- 英国とノルウェーが2008年から共同で運営を開始したコンゴ流域森林基金(Congo Basin Forest Fund : CBFF)を原資に、様々な機関がREDDプラスプロジェクトを実施してきた。
- その他、世界銀行FCPFの支援を受けたREDDプラスのプロジェクトも実施されている。



(注) 図中の番号は、表3-1と対応。

(注) プロジェクトの実施主体等が公開している情報から主だった事業を整理した。

図 3-1 主だったREDDプラス関連事業の実施地域及び実施団体

表 3-1 主だったREDDプラス関連事業実施及び資金援助の状況

事業/ 支援 タイプ	主だった 実施主体	取組の概要
パイロット事業実施		
① 国際基金	Congo Basin Forest Fund (CBFF)、英国及びノルウェー政府、Joint Organization of the Ecologists and Friends of the Nature (OCEAN)	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクト名 : Isangi Geographically Integrated REDD Pilot project^{18,12} 実施場所 : 東部州Isangi 実施期間は2011～2031年、CBFFの予算は2,498千ユーロ。 土地利用計画及び村ベースの森林管理計画の策定、アグロフォレストリー及び再植林の促進、持続可能な森林管理に関する情報提供と教育を通じて、持続可能な森林管理を実施。
② 国際基金	CBFF、英国及びノルウェー政府、World Wide Fund for Nature (WWF)	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクト名 : Geographically Integrated Ecomakala + REDD Pilot Project^{19,12} 実施場所 : North Kive州Rutshuru, Nyiragongo, Masisi地域 実施期間は2011～2031年、CBFFの予算は2,495千ユーロ。 植林、林業技術者のキャパシティ・ビルディング、薪炭林の違法伐採抑制、木材利用分野の研究を通じて、持続可能な森林管理を実施。
③ 国際基金	CBFF、英国及びノルウェー政府、Wildlife Conservation Society (WCS)	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクト名 : Mambasa Geographically Integrated REDD Pilot Project^{20,12} Ituri州Mambasa 実施期間は2011～2031年、CBFFの予算は2,960千ユーロ。 準国ベースでのREDDプラス実施を通じて、2013年からコンゴ民主共和国が取り組む国家REDD戦略策定に役立てることを目指す。 参加型植林、農業活動及びアグロフォレストリー活動による地域住民の生計向上、森林管理計画の策定を実施。
④ 国際基金	CBFF、英国及びノルウェー政府、Woods Hole Research Center (WHRC)	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクト名 : Civil Society and Government Capacity Building within the REDD Framework²⁰ 実施場所 : 赤道州 2011年より取組開始。CBFFの予算は3,210千ユーロ。 赤道地区で持続可能な森林管理を行うために、情報共有による透明性の確保やコミュニティとの関係構築を実施。
⑤ 国際基金	CBFF、アフリカ開発銀行(African Development Bank : AfDB)、英国及びノルウェー政府、NOVACEL	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクト名 : South Kwamouth REDD Agroforestry Pilot Project^{21,12} 実施場所 : Bandundu州Kwamouth 実施期間は2011～2036、CBFF及びAfDBからの予算は4,438千ユーロ。 苗床の設置、アグロフォレストリーを通じて、持続可能な森林管理を実施。

¹⁸ 出典 : CBFF (2010a) Isangi Geographically-Integrated REDD Pilot Project Appraisal Report,

¹⁹ 出典 : CBFF (2010b) Geographically Integrated Ecomakala + REDD Pilot Project Appraisal Report,

²⁰ 出典 : CBFF (2010c) Mambasa Geographically-Integrated REDD Pilot Project Appraisal Report,

²¹ 出典 : CBFF (2011a) South Kwamouth REDD Agroforestry Pilot Project Appraisal Report,

表 3-1 つづき

事業/ 支援 タイプ	主だった 実施主体	取組の概要
パイロット事業実施		
⑥ 国際基金	CBFF、英国及び ノルウェー政府、 WWF	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクト名 : Integrated REDD Pilot Project Around the Luki Biosphere Reserve in Mayombe Forest^{22, 12} 実施場所 : Bas-Congo州Mayombe Forest 実施期間は2011～2032年、予算規模2,400千ユーロ。 種子生産、小規模森林管理、林業技術者のキャパシティ・ビルディング、地域のNGOや地域住民、先住民のキャパシティ・ビルディングを通じて、持続可能な森林管理を実施。
国際基金	CBFF、英国及び ノルウェー政府	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクト名 : Project of Support for the Community Implementation of Forests in DRC²³ 実施期間は3年間、予算規模7.6百万ユーロ。 国家REDD戦略策定、コミュニティ林業の実施を支援。

(注) 左列の番号は、図3-1と対応。

3.2 日本の支援状況

- 日本からは以下の無償資金協力が実施されてきた。
 - 環境プログラム無償「森林保全計画」(2010年) : 10億円の資金を提供し、森林減少の抑制や温室効果ガス(Greenhouse Gas : GHG)の排出量削減の支援を実施。
 - 「コンゴ盆地における持続可能な熱帯雨林経営と生物多様性保全のための能力強化計画」²⁴(2012年) : ITTOと連携し、278百万円(ただし、カメルーン共和国、コンゴ共和国、コンゴ民主共和国及び中央アフリカ共和国に対する合計額)の資金を提供し、森林保全分野のキャパシティ・ビルディング支援を実施。
- 国際協力機構(JICA)は、次のREDD関連事業を実施している。
 - 技術協力プロジェクト「持続可能な森林経営及びREDDプラスのための国家森林インベントリ整備支援プロジェクト」²⁵(2012～2017年) : 300百万円の調査費用を用い、国家森林資源インベントリシステムの構築、システム運用計画の策定、運用に向けての政府職員
のキャパシティ・ビルディングを実施。

²² 出典 : CBFF (2011b) Integrated REDD Pilot Project Around the Luki Biosphere Reserve in Mayombe Forest Project Appraisal Report.

²³ 出典 : CBFF (2012) Democratic Republic of Congo.

²⁴ 出典 : 外務省 (2012) カメルーン、コンゴ共和国、コンゴ民主共和国、中央アフリカに対する無償資金協力「コンゴ盆地における持続可能な熱帯雨林経営と生物多様性保全のための能力強化計画(国際熱帯木材機関(ITTO)連携)」に関する書簡の交換

²⁵ 出典 : JICA (2012) プロジェクト基本情報 持続可能な森林経営及びREDDプラス促進のための国家森林モニタリングシステム強化プロジェクト

4

その他

4.1 UNFCCCへの関与情報

4.1.1 UNFCCCでの取組状況

表 4-1 UNFCCCでの取組状況^{26,27}

実施事項	実施状況
国連気候変動枠組条約	署名：1992年6月11日、批准：1995年1月9日
京都議定書	署名：なし、批准：2005年3月23日
DNA担当組織	環境・自然保護・観光省(MECNT)
第1次国別報告書	2001年10月31日提出
第2次国別報告書	2009年11月27日提出
隔年更新報告書	未提出(2015年12月31日現在)
各国が自主的に決定する約束草案	2015年8月18日提出

4.1.2 NAMAsにおけるREDDプラスの位置づけ

- コンゴ民主共和国は14の途上国が参加する Low Emission Capacity Building Programmeに参画し、EU、ドイツ連邦環境・自然保護・原子炉安全省(Bundesministerium für Umwelt, Naturschutz und Reaktorsicherheit：BMU)及びUNDPの資金支援により、低排出開発戦略(Low Emission Development Strategy：LEDS)及びNAMAsの計画の策定が進められてきたが、REDDプラスに関連する進捗等の情報は示されていない²⁸。

4.1.3 INDCにおけるREDDプラスの位置づけ、REDDプラスへの言及

- REDDプラスに関する言及はない。

4.2 UNFCCCへ提出している森林情報

表 4-2 A/R CDMのための森林定義²⁹

項目	値
森林面積	最小0.5ha
樹冠率	最低30%
樹高	最低5m

表 4-3 A/R CDMの対象森林²⁹

項目	A/R CDMの対象状況
竹林	(記載なし)
オイルパーム	(記載なし)

²⁶ 出典：UNFCCC (2014a) Parties & Observer States: Democratic Republic of Congo.

²⁷ 出典：UNFCCC (2014b) Submitted biennial update reports (BURs) from non-Annex I Parties.

²⁸ 出典：EU, UNDP (2011) Low Emission Capacity Building Programme.

²⁹ 出典：UNFCCC (2014c) Designated National Authorities.

4.3 その他の特徴的な地球温暖化対策

- REDDプラス大学においてREDDプラスの講座を開設して、幅広い関係者への知見共有に注力する他、民間セクターとの共同による森林支援にも力を入れている。
- 2006年の貧困削減・成長戦略文書(The DRC's Poverty Reduction and Growth Strategy Paper : DSRP)も、森林保全の強化を明示している。

出典・参考資料

- CBFF (2010a) Isangi Geographically-Integrated REDD Pilot Project Appraisal Report. AFDB
http://www.afdb.org/fileadmin/uploads/afdb/Documents/Policy-Documents/DRC_-_ISANGI_-_Pilot_Project_-_CBFF_-_APPROVED_.pdf
- CBFF (2010b) Geographically Integrated Ecomakala + REDD Pilot Project Appraisal Report. AFDB
http://www.afdb.org/fileadmin/uploads/afdb/Documents/Project-and-Operations/RDC_-_Approved_-_Gograpically_integrated_Ecomakala_REDD_pilot_project_.pdf
- CBFF (2010c) Mambasa Geographically-Integrated REDD Pilot Project Appraisal Report. AFDB
http://www.afdb.org/fileadmin/uploads/afdb/Documents/Project-and-Operations/DRC_-_Mambasa_Pilot_Project_-_CBFF_-_APPROVED_.pdf
- CBFF (2011a) South Kwamouth REDD Agroforestry Pilot Project Appraisal Report. AFDB
http://www.afdb.org/fileadmin/uploads/afdb/Documents/Project-and-Operations/RDC_-_South_Kwamouth_Redd_Agroforestry_Pilot_Project_-_AR_.pdf
- CBFF (2011b) Integrated REDD Pilot Project Around the Luki Biosphere Reserve in Mayombe Forest Project Appraisal Report. AFDB
http://www.afdb.org/fileadmin/uploads/afdb/Documents/Project-and-Operations/DRC_-_Luki_Biosphere_Reserve_in_Mayombe_Forest_-_Approved_.pdf
- CBFF (2012) Democratic Republic of Congo. AFDB
<http://www.afdb.org/en/countries/central-africa/democratic-republic-of-congo/>
- Democratic Republic of Congo (2010) National Programme Document – Democratic Republic of Congo. UN-REDD
<http://www.un-redd.org/UNREDDProgramme/CountryActions/DemocraticRepublicofCongo/tabid/1027/language/en-US/Default.aspx>
- Democratic Republic of Congo (2010) Readiness Plan for REDD (R-PP), Final Version. FCPF
http://www.forestcarbonpartnership.org/fcp/sites/forestcarbonpartnership.org/files/Documents/PDF/Jul2010/R-PP_V3.1_English_July2010.pdf
- Democratic Republic of Congo (2012) REDD Readiness Progress Fact Sheet: COUNTRY DRC September, 2012. FCPF
https://www.forestcarbonpartnership.org/sites/forestcarbonpartnership.org/files/Documents/PDF/Oct2012/R-PP_Progress_Fact_Sheet_-_DRC_-_Sept_2012.pdf
- Democratic Republic of Congo (2014a) Emission Reductions Program Idea Note (ER-PIN). FCPF
http://www.forestcarbonpartnership.org/sites/fcp/files/2014/February/DRC_ER-PIN_CF9.pdf
- Democratic Republic of Congo (2014b) National Forest Monitoring System. UN-REDD
<http://www.rdc-snsf.org/portal/>
- FAO (2010) Global Forest Resources Assessment 2010. FAO
<http://www.fao.org/forestry/fra/fra2010/en/>
- FCPF (2014) Tird Grant Agreement for DRC's Readiness Preparation Proposal Readiness Fund of the FCPF. FCPF
http://www.forestcarbonpartnership.org/sites/fcp/files/2014/April/Additional_Readiness_Grant_January_2014.pdf
- Forest Peoples Programme (2013) The Status of the REDD+ process in the Democratic Republic of Congo.
<http://www.forestpeoples.org/sites/fpp/files/publication/2013/05/redd-drc-engmay2013.pdf>
- EU, UNDP (2011) Low Emission Capacity Building Programme. UNDP
http://www.undp-alm.org/sites/default/files/downloads/lecbpbrochure_2_6web.pdf
- ITTO (2011) Status of Tropical Forest Management 2011:81. ITTO
http://www.itto.int/news_releases/id=2663
- JICA (2012) プロジェクト基本情報 持続可能な森林経営及びREDDプラス促進のための国家森林モニタリングシステム強化プロジェクト. JICA

<http://gwweb.jica.go.jp/km/ProjectView.nsf/VIEWParentSearch/90A267556A2B5213492579FB0079DDCF?OpenDocument&pv=VW02040104>

- 外務省（2012）カメルーン、コンゴ共和国、コンゴ民主共和国、中央アフリカに対する無償資金協力「コンゴ盆地における持続可能な熱帯雨林経営と生物多様性保全のための能力強化計画（国際熱帯木材機関（ITTO）連携）」に関する書簡の交換. 外務省
http://www.mofa.go.jp/mofaj/press/release/24/1/0125_06.html
- UN data
<http://data.un.org/Default.aspx>
- UNDP（2014）Muti-Partner Trust Fund Office Gateway. UNDP
<http://mptf.undp.org/factsheet/fund/3CD00>
- UNFCCC（2014a）Parties & Observer States: Democratic Republic of Congo. UNFCCC
<http://maindb.unfccc.int/public/country.pl?country=CD>
- UNFCCC（2014b）Submitted biennial update reports (BURs) from non-Annex I Parties. UNFCCC
http://unfccc.int/national_reports/non-annex_i_natcom/reporting_on_climate_change/items/8722.php
- UNFCCC（2014c）Designated National Authorities. UNFCCC
<http://cdm.unfccc.int/DNA/index.html>
- Wildlife Works Department of Carbon Development（2012）The Mai Ndombe REDD+ Project. VCS
http://www.vcsprojectdatabase.org/#/project_details/934

本レポートは、2015年12月31日までに公表された情報に基づく。

